


2024 年度沖縄県医学検査学会（第 59 回）

学会企画



部門企画

「形態学部門の基礎の基(き)」

染色実習・顕微鏡実習 白衣を持参して下さい

【ねらい】

一般、血液、細菌、病理、細胞の形態学領域は、各分野で観察に適した普通染色、特殊染色を行う事で臨床へ有益な情報を提供している。普通染色、特殊染色、いずれも様々な種類と操作方法があり、原理や方法の書物も多くある。しかし、同じ検体、同じ試薬、同じ方法でも染色性に差があり、更には同じ施設でも技師間で差があることがある。例えば、「ゆっくり・素早く」の指示では、個人でのスピードは異なり、「液を乗せる・水洗する」の指示では、個人での液の馴染ませ方が異なる。

一方、様々な細胞変化を捉え、臨床へ情報を提供する為に顕微鏡は必要不可欠なツールといえる。但し、どんなに良好に染色された標本であっても顕微鏡の各調整箇所が適切に設定され、適切な操作が行われていなければ見えるものも見えにくくなってしまう。

今回は、「形態学部門の基礎の基(き)」と題して染色手技の基礎的な知識、顕微鏡の基本的な使い方の2つについて講義、実習を行う。手技に影響を与える現象、鏡検を最適に行うための設定方法を理解する場となれば幸いである。

会場：第5会場（保健学科棟 1階109）

時間：9：00～10：30

講師所属

那覇市立病院

沖縄県立北部病院

沖縄県立中部病院

沖縄県立南部医療センターこども医療センター

講師名

嵯峨 彰太

玉城 和朗

新垣 善孝

石橋 和磨